

# 日本放送協会 千葉放送局 ●千葉市中央区

**贈呈理由** 環境に配慮した排熱回収型ヒートポンプチラーと水蓄熱システムを採用



日本放送協会 千葉放送会館



排熱回収ヒートポンプ

### 水蓄熱システムを導入、効率的な運転を行う

さらに空調熱源システムでは、夏季の電力負荷の平準化を目的とした排熱回収ヒートポンプと水蓄熱システムを導入し、夏季は、夜間に排熱回収型チラーの冷房専用運転で蓄熱槽へ冷水を蓄え、ピーク時間帯には排熱回収型チラーを停止して放熱のみで空調負荷をまかなうピークカット運転をし、中間期は排熱回収型チラーを冷房専用運転して、空調負荷が小さい時期は全蓄熱運転をしている。また冬季は、排熱回収型チラーは排熱回収運転し、蓄熱槽へ冷水と温水で同時に蓄熱を行う効率的な運転を行っている。

水蓄熱式空調システムは夜間の割安な単価を適用できるため、ランニングコストの低減効果も期待している。

NHK千葉放送局は環境にやさしいエコ放送局として、これからも県民に安全・安心情報を正確・迅速に届けながら、全国には「豊かな千葉」「元気な千葉」を発信していきたいと考えている。

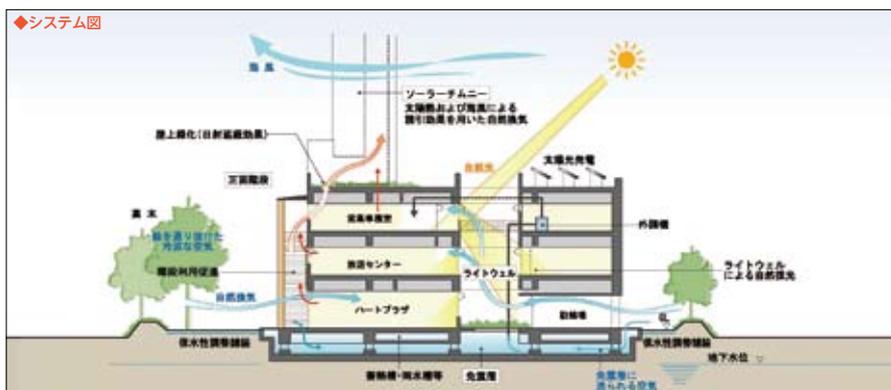
### さまざまな省エネルギー施策でCO<sub>2</sub>排出量を削減

外装材に木材を使用し、周囲の緑地帯と調和した温かみのある外観の建物は、地盤の液化化対策や免震構造の採用などにより、災害に強い構造となっている。

また、「環境にやさしいエコ会館」の理念から、クール・ヒートトレンチ(地中熱利用システム)、自然換気システム、屋上および壁面の一部緑化、太陽光パネルの設置など、さまざまな省エネルギー施策によりCO<sub>2</sub>排出量を削減している。

NHK千葉放送局は、1943(昭和18)年に総務局千葉出張所として千葉市市場町(現、同市中央区市場町)に、ラジオ契約数162,000件で開設された。53年にはテレビジョン放送を開始。地域とともに歩み続けて今年で開局70年を迎える放送局である。

71年に竣工した旧千葉放送会館の建て替えを行い、現在の放送会館がオープンしたのは2011年12月。新しい放送会館は、「地域に開かれた魅力ある放送会館」「環境にやさしいエコ会館」「災害に強い放送局」の3つの理念の実現を目指して計画された。



### 日本放送協会 千葉放送会館

所在地:千葉市中央区千葉港5-1  
建築設計:株式会社建設  
建築施工:株式会社ナカノド  
蓄熱設備設計:株式会社建設  
蓄熱設備施工:株式会社ナカノド  
延床面積:5,262㎡  
竣工年:2011年(新設)

#### ●蓄熱設備概要

水蓄熱式空調システム 熱源機:排熱回収ヒートポンプ 348kW×1台(神戸製鋼所) 蓄熱槽:407㎡(冷水水槽)